

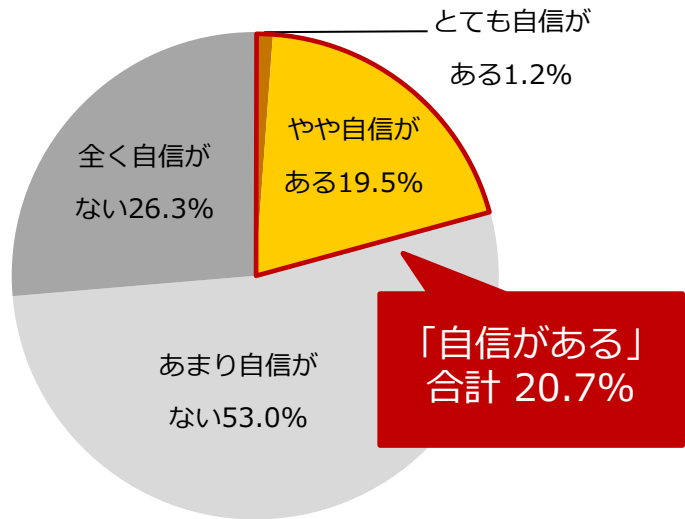
PART1 日本人女性の“美しさ” ～美しさに自信がある女性、わずか20.7%！～

「自分自身の“美しさ”に自信がありますか？」という質問に対し、「とても自信がある」と回答したのはわずか1.2%。「やや自信がある」と回答した人19.5%とあわせても、「自信がある」と回答した人は20.7%とわずか2割にとどまりました。年代別で見ると、30代が16.0%と最も低い結果に。一般的に“お肌の曲がり角”を迎えると言われる30代において、女性達は美しさへの自信を失う傾向にあるようです。

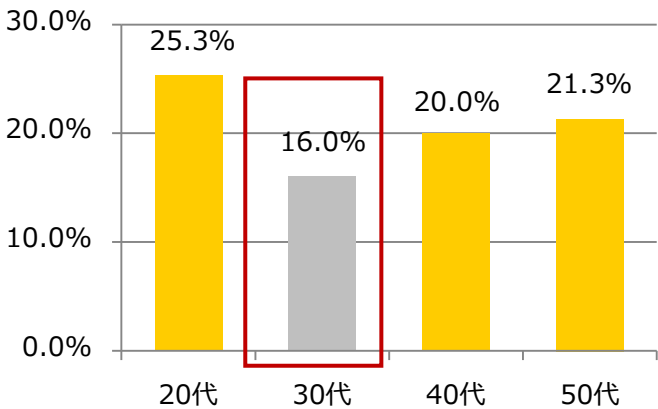
ちなみに、「現在の自分の“美しさ”は10点満点中何点ですか？」という質問に関しては、平均4.2点と低く、理想の美しさとは隔たりがあることがわかります。

■自分自身の“美しさ”に「自信がある」人は、わずか20.7%。

Q1-1.あなたは自分自身の“美しさ”に自信がありますか。（SA/n=600）

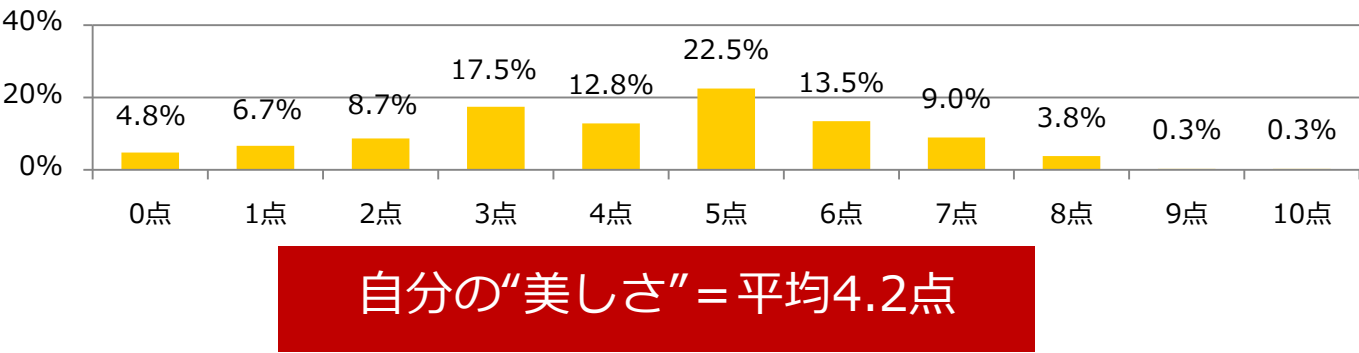


Q1-2.あなたは自分自身の“美しさ”に自信がありますか。年代別集計（SA/n=600）



■現在の自分自身の“美しさ”に点数をつけると、10点満点中平均4.2点。

Q2 今の自分の“美しさ”に点数をつけるとすれば、10点満点中何点ですか？（SA/n=600）



PART2 “美しさ”と幸福度の関係

～“美しさ”で、女性の幸福度は推計30%上昇する！？～

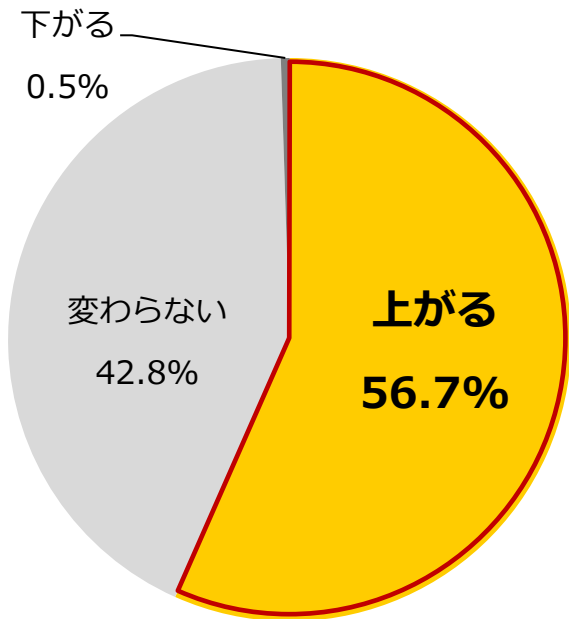
続いて、日本人女性の幸福度について調査をしたところ、現在の幸福度の平均値は、10点満点で6.3点となっています。この幸福度が“美しさ”によってどう変化するかを検証したところ、約6割となる56.7%の女性が「自分が今より美しくなった時、幸福度が上がると思う」と回答しています。

その上昇値は平均で約2点。現在の幸福度の平均と比較すると、実に30%近い上昇が見込めることが判明しました。

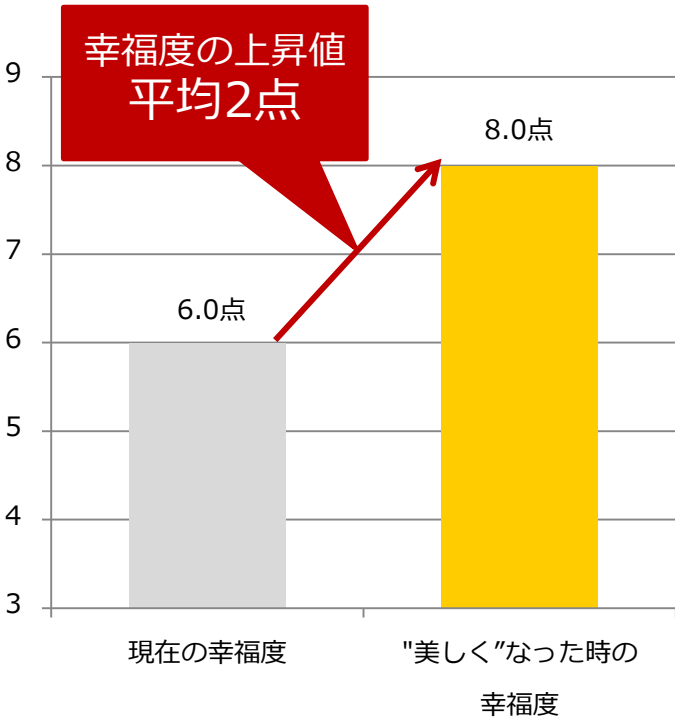
現在“美しさ”に自信を持つ人が少ない日本において、“美しさ”が向上することによって“幸福度”が大きく高まる可能性がみてとれます。

■今より美しくなった時、幸福度が上がると思う人は過半数の56.7%。
想定される上昇値は、平均2点。推計、約30%の上昇が見込まれる。

Q3.あなたが今より美しくなった時、
あなたの幸福度は上がると思いますか。
(SA/n=600)



Q4.あなたが今より美しくなった時、
あなたの幸福度は何点になりますか。
(SA/n=Q3で幸福度が上がると回答した340)



■“美しさ”によって上昇する幸福度は、推計約30%以上！！

期待される幸福度
8.0点

÷

現状の幸福度
6.0点

= 133%

PART3 “美しさ”への努力 ～自分の“美しさ”に積極的に努力できている人は約3割～

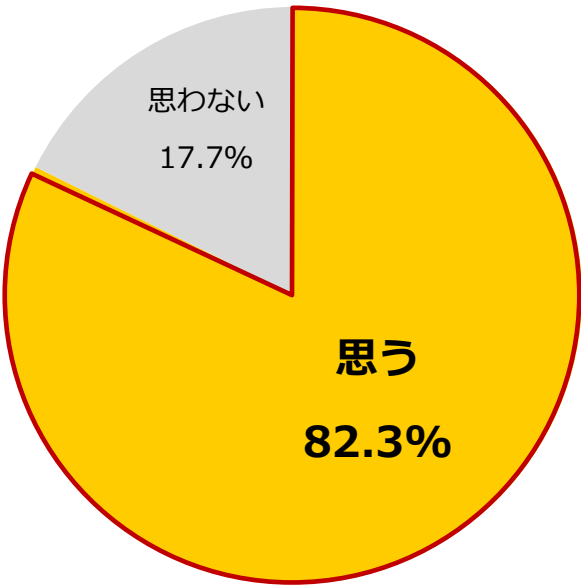
最後に、女性達が自分の“美しさ”にどう向きあっているかを調査したところ、「今より美しくなりたい」と回答した人が82.3%と、多くの人が「もっと美しくなりたい」と感じていることがわかりました。

しかし、その一方で「自分自身の“美しさ”に対して積極的に努力しているか」という質問に対しては、「十分努力している」と回答した人はわずか1.8%。「十分ではないが、それなりに努力している」と回答した31.3%、合わせて33.2%とおよそ3割に留まりました。この「美しさへの努力」の度合いによって、幸福度も上昇する傾向も見えてとれました。

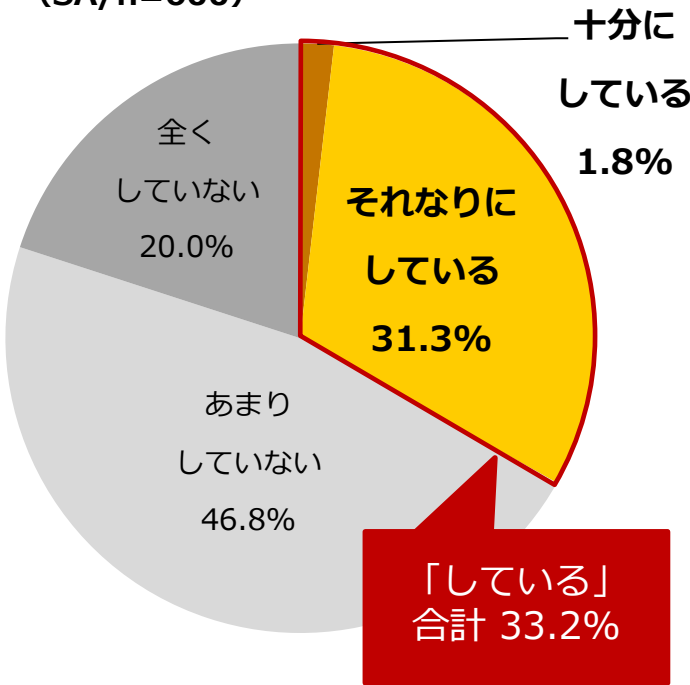
まだまだ、自分の“美しさ”に対して十分な努力ができていない状況にある日本人女性。まずは、時分自身の“美しさ”にむきあうことが“至福美”へのきっかけとなるかもしれません。

■8割以上の女性達が、今よりもっと美しくなりたいと感じている。
一方で、自分の“美しさ”に対して努力できているのは3割に留まる。

Q5.あなたは、今よりもっと美しくなりたいと感じますか。（SA/n=600）



Q6.あなたは、自分の“美しさ”のために、積極的に努力をしていますか。（SA/n=600）



【調査概要】

- 【調査対象と回収サンプル数】 20～50代の女性600名
- 【調査地域】 全国
- 【調査方法】 インターネット調査（調査会社の登録モニター活用）
- 【調査期間】 2014年10月

※調査結果の数値は小数点第一位を四捨五入して表示しているため、積み上げ計算すると誤差が出る場合がございます。